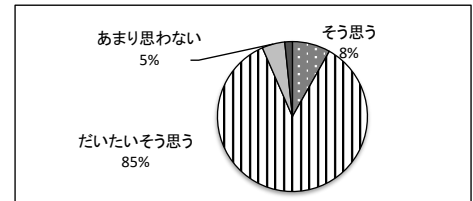


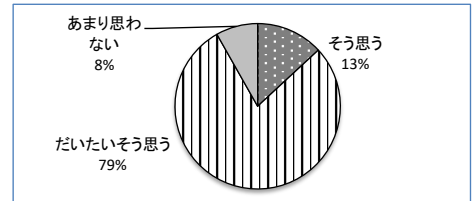
- 1 【教育目標】本校の教育目標の達成に向けて、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導が行われている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
5	52	3	1
93%		7%	



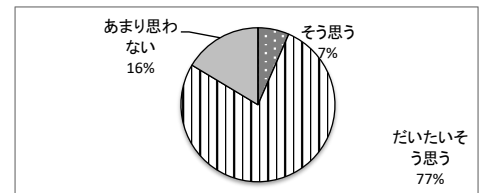
- 2 【子ども像】「明るく元気に楽しく学べる子ども」「自分のことに自分で取り組む子ども」「まわりの人と仲良くする子ども」を育成する教育となっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
8	48	5	0
92%		8%	



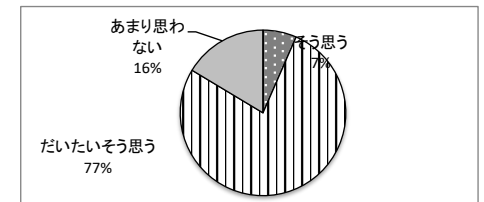
- 3 【学習指導】「一人一人が確かに育つ」ための手立てを取って授業が行われ、子どもの生きる力が高まっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
4	47	10	0
84%		16%	



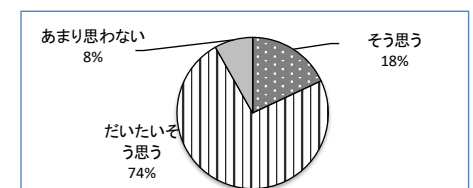
- 4 【生徒指導】学校生活全般にわたる指導・支援を通して、幼児児童生徒が基本的な生活習慣及び年齢相応の人とかかわりなどの社会性が高まっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
4	47	10	0
84%		16%	



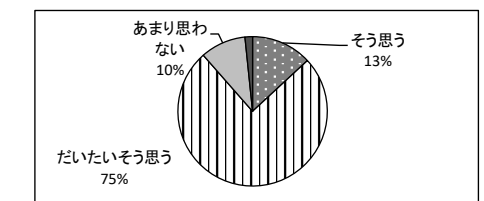
- 5 【健康指導】子どもの健康の維持と体力の向上をめざす指導が行われている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
11	45	5	0
92%		8%	



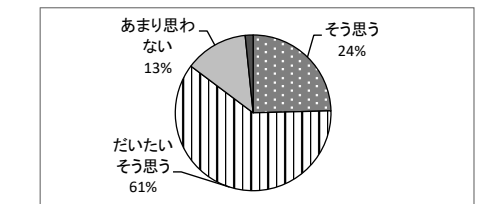
- 6 【危機管理】安全・安心な学校となるように、学校事故や交通事故の未然防止のための情報共有及び災害への対応について、手だてが取られている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
8	46	6	1
88%		12%	



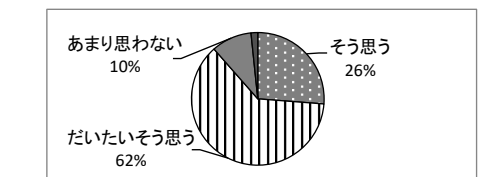
- 7 【教育環境】さまざまな感染症に対する感染防止対策は適切に行われ、障がいがある子どもが学ぶために配慮した、快適に学校生活を送ることができる教育環境となっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
15	37	8	1
85%		15%	



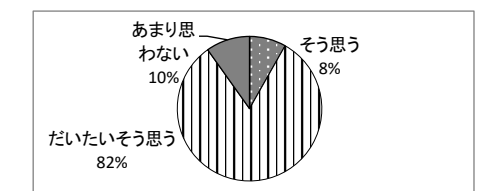
- 8 【専門研修】校内におけるさまざまな研修が、専門性の向上につながっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
16	38	6	1
88%		12%	



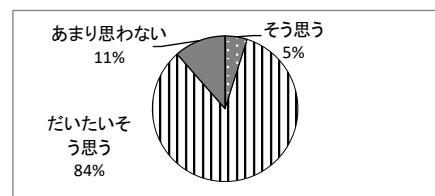
- 9 【学校研究】学校研究の取組が、日常的な授業改善につながっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
5	50	6	0
90%		10%	



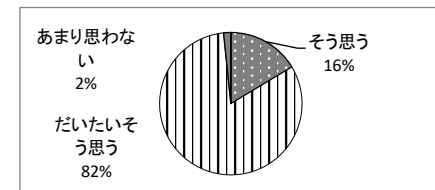
- 10【進路指導】 幼稚園・小学部の早期から、自立と社会参加に向けた進路指導とキャリア教育の視点をもった教育が行われている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
3	51	7	0
89%		11% (10)	



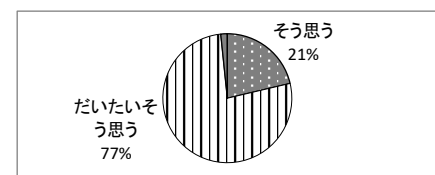
- 11【理解・啓発】 学校公開やHP、広報等の定期的な情報発信を通して、本校教育の理解・啓発が図られている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
10	50	1	0
98%		2%	



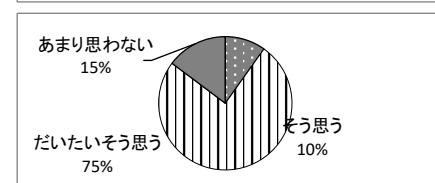
- 12【センター的機能】 地域の特別支援教育のセンターにふさわしい教育相談及び地域支援の取組となっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
13	47	1	0
98%		2% (0)	



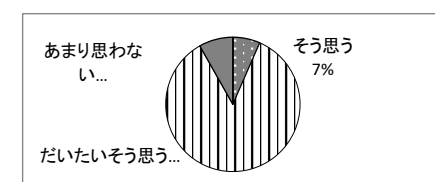
- 13【交流及び共同学習】 学校周辺の地域や居住地校等との交流及び共同学習が適切に実施されている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
6	46	9	0
85%		15%	



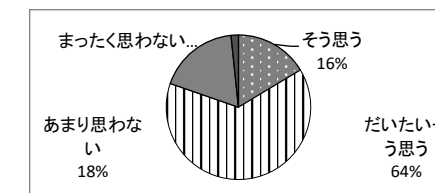
- 14【運営組織】 現在の学校運営組織が、学校の教育目標達成に向けて取り組む際に、適切なものとなっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
4	52	5	0
92%		8% (5)	



- 15【職場環境】 同僚性を大切にし、「働きがい」や「つながり」のある運営を創造する職場環境となっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
10	39	11	1
80%		20%	



「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせたA+B評価について、全評価が80%以上、7項目が90%以上であった。

重点1 安全・安心に係る項目

- ・感染症等の状況や気候に応じながら教育活動を実施した。全ての子ども達が安全・安心に学校生活を過ごしながらも、コロナ禍前に取り組んでいた活動も含め、様々な観点から教育活動を工夫していく。
- ・豪雨災害では、気象状況や地域の学校からの情報収集などを行い対応した。今後も子ども達の安全・安心を最優先し、避難訓練の実施、反省、マニュアルの見直しなど改善を図っていく。

重点2 豊かな人間性を育む交流及び共同学習の推進に係る項目

- ・学校間交流や同世代交流など今年度新たな交流及び共同学習を実施した。地域の学校との交流や回数、内容など双方の子ども達に教育効果が得られるよう交流及び共同学習の計画を進めていく。

重点3 早期からの、自立と社会参加に向けた進路指導に係る項目

- ・進路指導研修会や事業所見学など進路に関する研修会などを実施し聴覚障がい教育部、知的障がい教育部とも専門性を高めることができた。子ども達の卒業後の姿や幼稚園から高等部までのつながりを意識した進路指導が行えるよう、日々の進路指導や研修などを通して専門性を高められるようにする。

重点4 専門性の維持・向上に係る項目

- ・県内に限らず県外からも講師を招聘し研修会を実施し、専門性の維持・向上に努めた。また、校内研究を生かして指導力の向上に努めた。今後も必要な研修内容を検討・精選し専門性と実践力を向上していく。

重点5 保護者・関係機関との連携に係る項目

- ・送迎時や連絡帳、教育懇談など保護者との丁寧な情報共有を心がけた。また、学校公開や高等部の現場等における実習、関係者会議の開催など関係機関との連携を適宜行った。今後も本校の子ども達の成長はもちろん、地域の学校としてセンター的機能の役割を果たしていく。